

新収蔵品展

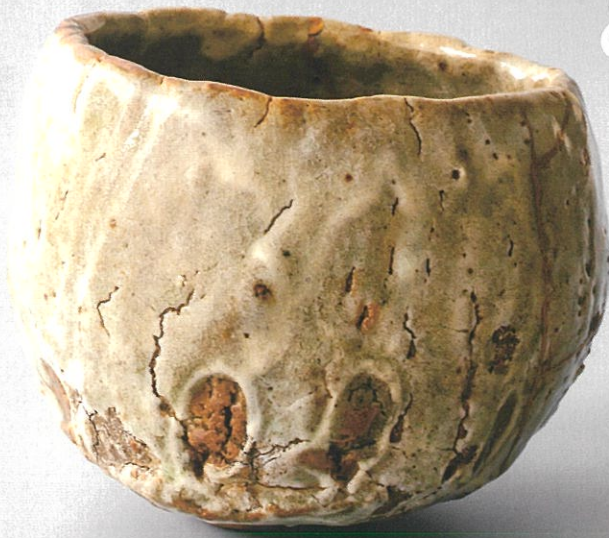
大森素坡・坪島土平二大コレクション受贈記念

川喜田 半泥子と ともにII

Omori Soba's Collection

&

*Tsuboshima Dohei's
Collection*



灰釉茶碗 銘 これはしたり
川喜田半泥子作(大森素坡コレクションより)



志野茶碗 銘 大きび
川喜田半泥子作(坪島土平コレクションより)

2024

4/13 SAT.

→ 6/23 SUN.

開館時間:10時~17時(入館は16時30分まで)

休館日:毎週月曜日[但し祝日の場合は翌平日]

(4月29日、5月6日[月・祝]は開館、翌4月30日、5月7日[火]は休館)

入館料:一般500円[400円]・学生300円(中学生以下無料)

※[]内は20名様以上の団体料金 ※セット券(5枚2,000円)あり

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>

〈協賛〉株式会社百五銀行



HP



X(IETwitter)



Instagram

新収蔵品展

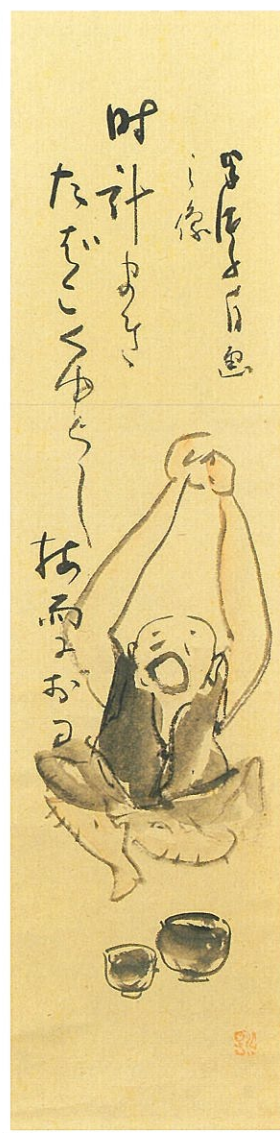
大森素坡・坪島土平

二大コレクション受贈記念

川喜田半泥子と

ともにII

戦後間もなく半泥子が開いた廣永陶苑のインフラ整備に尽力した大森素坡(本名幸郎氏・1905〜95)と、半泥子から廣永窯の未来を託された愛弟子の坪島土平(1929〜2013)。その2人が半泥子本人から譲り受けた作品群が、令和5年(2023)、それぞれのご遺族より相次いで石水博物館へ寄贈されました。本展では、質量ともに充実した名品揃いの二大コレクションをお披露目し、半泥子のそばで廣永陶苑を草創期から支えた2人と半泥子との、窯場での交流を紹介します。



- ①千歳山真景図(大)
- ②雲堂手茶碗(坪)
- ③灰釉茶碗 銘 うぶすな(坪)
- ④灰釉茶碗 銘 ぼたもち(大)
- ⑤赤染茶碗 銘 一文字(坪)
- ⑥赤玉香合(大)
- ⑦ぐい呑 銘 蚕の夫婦(坪)
- ⑧半泥子と茶碗図(大)
- ⑨灰釉縮れ水指(大)

※すべて川喜田半泥子作または筆、館蔵
※(大)は大森素坡コレクション、(坪)は坪島土平コレクション



①

⑧

ご来館感謝デー 《千歳山の新緑を愛でる》

呈茶サービス付のミュージアムグッズ(500円)を販売します。

開催日:5月11日(土)、12日(日)

呈茶席: 10時~15時(10時~、11時~、12時~、13時~、14時~)、
於2階多目的室 事前予約制各日30名様(各時間帯数名様ずつ)
電話予約(☎059-227-5677)と当日の入館料が別途必要です。

呈茶席は立礼(椅子席)です。千歳山の新緑を眺めながらお気軽にお抹茶をお楽しみください。

協力:国立大学法人三重大学博学連携推進室
三重大学裏千家茶道部・表千家茶道部



ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

開催日時: 4月14日(日)、5月26日(日)、6月9日(日)は11時より
4月27日(土)、5月18日(土)、6月22日(土)は14時より
各日30分程度

参加方法:申し込みは不要。当日開始時刻までに石水博物館受付前へお越しください。参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

同時開催 (第2展示室)

所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

次回展覧会

夏休み企画展《『源氏物語』の美とひろがり》

会期:令和6年6月29日(土)~9月8日(日)

展示替休館 令和6年6月24日(月)~28日(金)

交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分・近鉄南が丘駅より徒歩約25分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<https://sekisui-museum.or.jp/>

